

## 第2回 地方自治体水道事業の海外展開検討チーム 議事概要

### 【開催日時等】

- 開催日時：平成22年4月23日（金）17:15～17:45
- 場所：総務省11階 第3特別会議室
- 出席者：渡辺総務副大臣、逢坂内閣総理大臣補佐官、高橋経済産業大臣政務官、西塔外務省経済局審議官（代理出席）、中尾厚生労働省大臣官房審議官（代理出席）、谷本国土交通省水資源部長（代理出席）、細田総務省大臣官房審議官

### 【議事】

- (1) 経済産業省より報告書の紹介
- (2) 地方自治体水道事業の海外展開の課題と基本的な考え方
- (3) 質疑及び意見交換

### 【配布資料】

- 資料1 「水ビジネス国際展開研究会」報告書概要（経済産業省）
- 資料2 地方自治体水道事業の海外展開の課題と基本的な考え方

### 【意見交換（概要）】

- 海外展開に自治体職員をどう関わらせるかということが一つ大きい課題と考えられるが、組織体制からすると中核市以上の規模のところというイメージ。
- 地球上の水のひっ迫ということがこれから出てくるので、水ビジネス以外の水需要に対する危機感が多く出てくるのではないか。
- 実際にノウハウを持っている自治体は、ノウハウを職員やチームとして持っていると思うので、そういう職員を派遣するシステムをどういう形で作っていくのかが大事ではないか。
- 海外参入のためには、国内においてPPPとかPFIとかいった民活的な活動に広がって、その中で企業経営として長期的に執行できるノウハウを蓄積していくということが大事ではないか。
- 水道事業者や水道関係企業が海外で事業展開を進めていくことについて関係省庁が連携して支援していく。
- 他国の企業も日本にかなり近いレベルの技術を持ちつつあり、そういう国々と競合になってきている。
- 水を単体で売るということも大変重要であるが、他のインフラとセットにしてどうやって売りこんでいくかを考えなければならない。